



せいほう

青峰学園だより

令和8年7月1日(水)
東京都立青峰学園校長
田村 貴代美

生きることは学ぶこと

副校長 小熊 喜代夫

高等部の現場実習が、今、真っ盛りである。肢体不自由教育部門、就業技術科の高等部2・3年生がそれぞれの実習先で3～5日間がんばっている。(がんばってきた。)初めての实習先で緊張しながら日々道順を間違えないように通っている人もいれば、卒業後の進路先として見込んでいる場所へ確認の意味で再度実習に行っている人もいる。人それぞれだが、いずれにしても、普段とは打って変わって慣れない環境、関わりの薄い人との模倣的社会生活の中で、学校で身に付けた力を確かめるべく一人一人が奮闘している。現場実習が終わると通常の学校生活に戻るわけだが、実習先と学校との往還に、実は大切な学びのプロセスがある。もっとも分かりやすい点は、成功すると自信につながるということである。身に付けた技能や態度が通用したときの喜びや達成感は何物にも代えがたい。それをさらに伸ばそうという意欲の源になる。また、うまくいかなかったことは、言い換えれば、改善・克服すべき課題が見つかるということである。課題が明らかになれば、その解決を目指して再び学校生活の中で重点的に練習又は習得していけばよいわけであって、その意味では成功も失敗も成長のため飛躍台となるわけである。先日、インターンシップ協力事業者連絡会という会合を進路指導部主体で開催した。インターンシップは、就業技術科1年生が2学期以降に行う1日間限定の就労体験で、原則一人3社、異なる職種で行うこととしている。この受け入れに協力してくださっている企業・団体から30名ほどの担当者が学校にお越しくださった。その冒頭挨拶として、実習先からの評価は大きな意味をもっている、ぜひ厳しく評価してほしい旨をあらためてお願いした。生徒の社会的自立のためには、自己評価及び教員による評価だけでは足りず、企業からの厳正かつ客観的な評価が不可欠である。このことは、今後、開催が予定されている現場実習・雇用事業所連絡会でも強調していくつもりである。

冒頭のタイトルは、学生時代に恩師が常々口にしていた言葉で、読んで字のごとく、人は死ぬまで一生学び続けていく生き物であるという意味である。抽象化された文言というのは、どうしても受け取れるので、実感としてあまり共感がもてず、聞いている時分は、「また、同じことを言っているなあ、よっぽどこの言葉が好きなんだな」くらいにしか思っていなかった。学校に勤めるようになって学校教育の重要性とともに学校が終わった後の学びこそが人の一生においては、より重要な意味をもつのだとを感じるようになった。そういえば、「生きることは学ぶこと」に続く決まり文句として「学ぶとは何かを学ぶ」とも常々言っていた。教師は学び方を学ばせるべきだということだ。

進路指導というのは、その人の今後の人生の方向性を決める。その意味で、担当者任せにせず、チーム青峰として教職員一丸となって取り組んでいくべき最重要の「学び」であるとあらためて決意を新たにしている。



7月 主な行事予定

日	曜	全 校	就業技術科	下校/部活	肢体不自由教育部門	下校便
1	水	学科説明会③AM 安全指導日		15:40 ×	福祉コース交流（小）	14:00 15:40
2	木	求職登録 療育相談 青峰看護専門学校実習		15:40 ○		15:40
3	金	求職登録 電卓検定①		15:40 ○		14:00 15:40
4	土	学科説明会④AM 入学者選考説明会②				
5	日	日本語ワープロ検定①				
6	月		自転車検定	15:40 ○	体重測定（肢）	14:00 15:40
7	火			15:40 ×		14:00 15:40
8	水			15:40 ×		14:00 15:40
9	木	避難訓練④火災 学科説明会⑤PM		15:40 ○	多摩図書館読み聞かせ	15:40
10	金	整形診 漢字検定②		15:40 ○		14:00 15:40
11	土					
12	日					
13	月			15:40 ○		14:00 15:40
14	火	環境衛生検査	携帯マナー講座（就2）	15:40 ○		14:00 15:40
15	水	セーフティ教室① 療育相談（山）		15:40 ×		14:00 15:40
16	木			15:40 ×		14:00
17	金	【肢短縮】 全校集会 指導医来校 水泳指導終了 【全校短縮】		13:30 ×		14:00
18	土	情報処理技能検定①				
19	日					
20	月	海の日				
21	火	夏季休業日 始 部活動見学会AM				
22	水	青峰セミナー				
23	木					
24	金					
25	土					
26	日	学科説明会⑥AM				
27	月					
28	火	職業コース体験型①AM 職業コース体験型②PM				
29	水	職業コース体験型③AM 職業コース体験型④PM				
30	木					
31	金					

ホームページ <https://seiho-sh.metro.ed.jp>

メール S8000541@section.metro.tokyo.jp

X(旧 Twitter) [@tokyoseihougaku](https://twitter.com/tokyoseihougaku)